



神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2022.11

No.42

アルゼンチンアリ

アルゼンチンアリは、「世界の侵略的外来種ワースト 100」に含まれ、国内でも外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている恐ろしいアリです。極めて高い繁殖力により高密度化し、家屋や工場、各種施設に侵入して、生活環境を脅かすだけでなく、各種機器や車両等に侵入して破損を引き起こします。室内への大量侵入や食料品への接触によって病原菌を媒介するため、人間の健康にも悪影響を及ぼします。

伊丹空港では管制塔内の設備に侵入、コンセント周りに死骸が累積し、火事になり兼ねない状況であったとされています。在来のアリや昆虫類他を駆逐するため、生物多様性への影響も甚大です。

神戸市では東遊園地と図書館「こども本の森 神戸」周辺に蔓延しているとの専門家の分析があり、市内の食品工場や流通企業、病院などから被害報告が出ています。

垂水区もまん延地域の一つとされており、公園などで発見報告が相次いでいるため、先行モデル事業として率先して根絶に取り組むよう、議会で求めました。



異常な繁殖力で家屋に侵入するアルゼンチンアリ（岩国市HP）

最も効果的な対策は、現状把握と事実の広報、市民に普及啓発し、連携して取り組む姿勢です。

市民の皆様も、アルゼンチンアリと思われるアリを発見された場合、裏面の連絡窓口まで、写真等を添えて通報していただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

特定外来生物「アルゼンチンアリ」の根絶に向けて



神戸市会議員
岡田ゆうじ

○委員（岡田ゆうじ） アルゼンチンアリの問題が神戸市内でも看過できない状況になっている。垂水区内でも子供たちが遊ぶ公園でサイト＝群生している所が見つかった。垂水区だけではなく、東遊園地のこども図書館などでもアルゼンチンアリが発見されている。

異常な繁殖をして、例えば家屋内にも入っていき、精密機械であるとか、人間生活に必要な不可欠なもの、インフラを破壊するようなことまでする。至急対策すべきだが、環境局の見解を伺いたい。

○福本環境局長 アルゼンチンアリは今がまさに最盛期、一番元気よく活発に活動している時期。そういった意味では、多くの市民の皆さんが目にする機会が多い。

まずは環境局のほうに御連絡いただいて、私どものほうでアルゼンチンアリかどうか、種の特定をする。その後、アルゼンチンアリだということに分かれば、どれぐらいの範囲でアルゼンチンアリが広がっているのか、巣がどの辺りにあるのか、モニタリング調査をする。

モニタリング調査した後はそれぞれの地域に個別に検討していきたい。というのも、防除の方法というのは本当に難しい問題を抱えている。見えているアリは殺虫剤を吹きかけたらすぐ防除できるが、見えている所よりも巣の中のほうが圧倒的に多い。巣はどうしても人間の見えない所にあるため、その防除の基本は餌となる。ベイト剤、要は毒の入った餌をアリに与えて、アリが巣にその餌を持ち帰って、時間をかけて駆除していく。どうしても時間がかかる。即効性がないというような課題もある。そういった意味では、地域の皆さんによく御理解いただいて、一

体的にやっていく必要がある。（中略）

薬剤というものを使う性質上、民有地になかなか薬剤を使うというのは、御理解・御了解をとるのに、やはり時間は一定かかる。そういった意味では、市の公園とか、市の所有している所を集中的にやるのが一番効果があるんじゃないか。特に公園は落ち葉とかアリの餌も結構あり、巣になりやすいエリアでもあるため、まずは（垂水）区近隣の大きな公園をそのモデル地域として取り組んでいきたい。

○委員（岡田ゆうじ） 具体的に垂水区の公園でモデル地域を設定して、今後取り組んでいただけるといってお話があった。あの繁殖力であれば、今やっとなないと、増えちゃったら手がつけられない。ぜひ根絶に向けて、来年中にでも撲滅できるよう、早急に取り組んでいただきたい。

アルゼンチンアリ対策には、市民の皆様の手が必要！

アルゼンチンアリを防除し、被害を抑えていくためには、市民の皆様のご協力が不可欠です。アルゼンチンアリにお困りの場合は、以下の連絡先までご連絡ください。

神戸市環境局自然環境課

biodiversity@office.city.kobe.lg.jp

※メールに被害状況や周辺環境が分かる写真を添付してください。

